



バングラデシュに恋して

私たちにあまり馴染みのない南アジアの国、
バングラデシュを紹介します。

vol.1



「みなさんはバングラデシュという国をご存知ですか？」

バングラデシュは、インドの右隣りにある貧しい国です。1971年に独立を果たしましたが、それまではパキスタンの一部で東パキスタンと呼ばれていました。

外務省データによると、バングラデシュの人口は1億5,250万人、国土面積はわずか14万4千平方キロメートル(北海道の約2つ分)で、現時点ではアジアの最貧国に属しており、約3割の国民が飢餓状態にいます。しかしながら近年は労働力の豊富さ、アジア最低水準の労働賃金に注目した外国企業の進出が著しく2011年にはユニクロも進出しました。バングラデシュの気候は熱帯で、雨季と乾季にはっきりと分かれています。6〜10月の雨季には、大規模洪水や台風

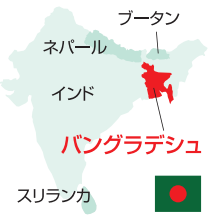
の被害も多く、観光のベストシーズンは乾季の12〜2月頃です。この時期のバングラデシュはとても爽やかで、明け方には霧が立ち込め幻想的な光景が広がります。

私たち日本人にとってバングラデシュはとても遠い国のように感じられますが、バングラデシュ人にとって日本は世界で最も好きな国だと言えます。その理由として3つ挙げられます。まず1つは、バングラデシュが独立宣言した時、日本は世界中で真っ先にバングラデシュを独立国家として承認しました。この事を今でもバングラデシュ人は忘れていません。

2つ目には、貧困に喘ぐバングラデシュに対して最も多額の資金援助を行っています。

そして3つ目は、バングラデシュ国内を走っている車95%以上が中古車の大部分がTOYOTA車という理由で日本に愛着があり憧れを持っています。

国旗も日本みたいな国家になるように日の丸を真似たとも言われています。日本人としてちよっと嬉しいですよね…。



バングラデシュの国旗。↑日本の国旗と色が違うだけで覚えやすいですね。

鶴田 素子さん

八代市のローズマリー紅茶店オーナー。50歳で大学院に再入学し、開発経済学を専攻。途上国の貧困削減のためフェアトレードを推進する。

ご感想お待ちしております！

info@uki-pre.net